

機器利用技術講習会のご案内

【核磁気共鳴装置 (Nuclear Magnetic Resonance・・・NMR)】

大阪府立産業技術総合研究所 企業の皆様の新技術・新製品の開発、性能向上などの特徴を、機器利用技術講習会を開催しますのでご案内します。

満員御礼！

定員に達しましたので申し込みは終了しました。

- ◆日 時：①平成24年2月28日(火) 9:50～11:50
 ②平成24年2月28日(火) 13:50～15:50
 ③平成24年3月2日(金) 9:50～11:50
 ④平成24年3月2日(金) 13:50～15:50
- 各コースの講習時間は約2時間です。

◆場 所：大阪府立産業技術総合研究所 (和泉市あゆみ野2-7-1 TEL:0725-51-2518)
 当日は、講習開始時刻前に当研究所の玄関ホール講習会開催案内小ボード前に、お集まりください。担当者が講習会場にご案内します。

◆定 員：各コース(①～④)とも1社のみ。参加人数は1社3名まで
 ※ 受講票は発行しません。定員を超えたときは、お断りする方のみにご連絡します。
 ※ 受講にはTRIカードが必要です。まだお持ちでない方は当日お申し込みいただけます(無料)。

◆費 用：無料

◆申込み先：大阪府立産業技術総合研究所 業務推進部 技術普及課
 ※ お申し込みはメール (fukyu@tri.pref.osaka.jp) またはFAX (0725-51-2509) でお願います。
 メールでお申し込みを頂いた方のみ、返信で受付をお知らせします。
 なお、メールでお申し込みを頂いた方には、当研究所の関連情報をお知らせする「産技研ダイレクトメールニュース」を配信させていただきますので、ご了承下さい。

◆対象機器：核磁気共鳴装置 (Nuclear Magnetic Resonance・・・NMR)
 核磁気共鳴装置は、薬品や農薬のような有機化合物、およびビニール、ポリエチレンといった高分子材料、そして核酸、タンパク質のような生体物質を中心とした炭素、酸素、水素、窒素、リンといった原子からなる有機物の分析に最も威力を発揮します。特に、その原子のつながりである平面構造や立体的構造まで知ることができるため、これら有機化合物の分析では中心的な位置を占めています。このように材料開発や化合物の合成には不可欠な装置でありながら、その原理を理解し、活用するためには多くの時間が必要です。

本講習会は、この難しさを解決し、研究開発の一助となるように、初心者や再度NMR分析技術の習得に挑戦されたい方を対象として、実際に見て、触れて、講習を進めます。NMR装置の概要や基本性能、NMR試料の準備、NMR情報の意味(NMRスペクトルから読み取れること)をお話します。なお、実習の測定は、時間の都合上、溶液NMR(水素、炭素)を中心に行います。

また、講習は1社毎に実施しますので、会社から持ち込まれる試料を使った実習も可能です。試料を持ち込まれる場合、測定時間は1試料あたり30分ですが、そのためには、貴社であらかじめ試料を調製していただくことが必要です。試料調整に必要な溶媒(重クロロホルム・d6-ベンゼンd6-アセトン)、及び試料管は産技研で用意しますが、その他、特殊な溶媒は貴社でご用意ください。なお、試料等に関するご質問は、下記講習担当者までお問い合わせください。

◆講習担当：大阪府立産業技術総合研究所 化学環境部 化学材料系
 主任研究員 井上 陽太郎

